【記入例】

〇〇第〇〇号
令和７年〇月〇日

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構長　　殿

学校法人〇〇理事長
◆　◆　◆　◆

令和７年度大学・高専機能強化支援事業の申請について

令和７年度大学・高専機能強化支援事業について、申請書類を添えて申請します。

様式２－２－１

令和７年度大学・高専機能強化支援事業
（支援２：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）【高等専門学校】
申請書

１．基本情報

学校コード	G114*********				
高専名	○○高等専門学校				
学校種	高等専門学校	設置区分	私立	都道府県	神奈川県

設置者・申請者	代表の職名・氏名	学校法人○○理事長 ◆◆ ◆◆		
事業責任者 連絡先	職名・氏名	○○高等専門学校○○長 ◆◆ ◆◆		
	TEL	○○○-○○○-○○○○		
	E-mail	○○○○@○○○○.ac.jp		
事務担当者 連絡先	担当者	担当者１	担当者２	担当者３
	職名・氏名	○○高等専門学校事務局○○課長 ◆◆ ◆◆	○○高等専門学校事務局○○課○○係長 ◆◆ ◆◆	○○高等専門学校事務局○○課○○係主任 ◆◆ ◆◆
	TEL	○○○-○○○-○○○○	○○○-○○○-○○○○	○○○-○○○-○○○○
	E-mail	○○○○@○○○○.ac.jp	○○○○@○○○○.ac.jp	○○○○@○○○○.ac.jp

事業計画名	○○高等専門学校○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		
本申請書の申請区分	**高等専門学校**	申請形態	学科・コース等の設置・増員
事業期間	令和7年度 ～ 令和15年度		

２．申請資格　※全て「該当しない」高専が申請資格を有します

ⅰ）　高専全体として学生募集停止中の高専

該当の有無	該当しない

ⅱ）　学校教育法第123条で準用する第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている高専

該当の有無	該当しない

ⅲ）　「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた高専

該当の有無	該当しない

ⅳ）　設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている高専

該当の有無	該当しない

ⅴ）　大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する高専

該当の有無	該当しない

３．申請要件

＜記載上の留意点＞
・自由記載の項目について、行の追加等は行わず、枠に収まる分量で作成すること（フォントサイズは10.5ptとすること）
・自由記載の項目においては、審査要項等を踏まえて、取組を分かりやすく記載すること
・各番号は公募要領における申請要件の番号と対応している

①　高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた高等専門学校であること。なお、新設予定の高等専門学校で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

確認状況	確認を受けている	機関要件確認日	2024/8/30

※「機関要件確認日」欄には、確認が行われたことの通知があった最新の日を記入する。

② 志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等の客観的なデータ等を踏まえた、十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

学生確保の見通しに関する具体的な記載（現在の志願倍率を含め、増員した場合でも学生確保が可能であることの記載を含む）

○○○○○○○○○○○○○○○○。

※「志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等」の詳細を【様式２－２－１別添】に記載

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び高等専門学校での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）

支援期間中における計画

○○○○○○○○○○○○○○○○。

④ 特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

支援期間中における計画（育成する人材像を含む）

○○○○○○○○○○○○○○○○。

⑤　計画の対象となる学科・コース等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

支援期間中における計画（既存の配置状況を含む）

○○○○○○○○○○○○○○○○。

⑥　特定成長分野のうち情報系分野に係る学科・コース等の設置・増員（学科の定員の増員を伴わないものを含む。以下「学科・コース等の設置等」という。）を行う計画であり、学位の種類及び分野の変更等に関する基準に定める工学関係の学位の分野に係るものであること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学則において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。

設置等を行う組織が特定成長分野のうち情報系分野であることの説明（情報教育に係る今までの取組又は設置後の取組予定の概要）

○○○○○○○○○○○○○○○○。

設置等を行う組織が「コース等」の場合は、学則においてコース等の募集人員数を明記する計画であることの説明

○○○○○○○○○○○○○○○○。

※「設置・増員及び専攻に係る課程の変更」の詳細を【様式２－２－１別添】に記載

⑦　社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学科・コース等の設置等の取組であること。

具体的な人材ニーズ及び計画との関連

○○○○○○○○○○○○○○○○。

⑧　機構による事業計画の選定があった日から２年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学科・コース等の設置等を行う計画であること。なお、高等専門学校を新設する場合は、機構による事業計画の選定があった日から３年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学科・コース等の設置等を行う計画であること。

設置・増員等開始年度（段階的に増員する場合は初回の年度）

学科
令和９年度

※増員等時期の詳細を【様式２－２－１別添】に記載

⑨　計画の対象となる学科・コース等の設置等において、20名以上の入学定員の増員を行う計画であること。

入学定員の増員数（選定時から増員終了後までの増分）

学科
30名

※定員増計画の詳細を【様式２－２－１別添】に記載

⑩　国立高等専門学校について、学校全体の収容定員の増員を伴う学科定員の増員を行う場合は、定員増を行った日から10年を経過した日までに、他学科・他コース等を中心に同規模の定員減を行う計画であること。

増員の有無	国立高等専門学校ではない

学科定員の増員を行う場合の他学科・他コース等の定員減計画概要（どの学科を減するかまでの記載は求めない）

⑪　教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画になっていること。

教員の確保や配置に関する計画

○○○○○○○○○○○○○○○○。

⑫　文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「リテラシーレベル」の認定を受けていること。（新設予定の高等専門学校においては、当該学校において学生の受入れを開始した日から７年を経過する日までに認定を受ける計画があること。）

申請時点の認定状況	認定済み

（設置予定の高専の場合は記載）いつ認定を受けるかの計画を記載

４．審査基準

＜記載上の留意点＞
・自由記載の項目について、行の追加等は行わず、枠に収まる分量で作成すること（フォントサイズは10.5ptとすること）
・審査要項等を踏まえて、取組を分かりやすく記載すること

○　地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

支援期間中における具体的な計画

○○○○○○○○○○○○○○○○。

○　初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

支援期間中における具体的な計画

○○○○○○○○○○○○○○○○。

○　女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

支援期間中における具体的な計画

○○○○○○○○○○○○○○○○。

○　他の大学（外国大学を含む。）・高等専門学校等と連携した取組を行う計画となっているか。

支援期間中における具体的な計画

○○○○○○○○○○○○○○○○。

○　計画の対象となる学科・コース等の設置等に係る定員の増加がどれだけ図られているか。また、高等専門学校の定員規模に応じた増加となっているか。

支援期間中における具体的な計画（具体的な数値を含めて記載のこと）

○○○○○○○○○○○○○○○○。

○　早期に学科・コース等の設置等を行う計画となっているか。

支援期間中における具体的な計画

○○○○○○○○○○○○○○○○。

○　文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度について、申請要件である「リテラシーレベル」に係る要件を満たすのみならず、更に「応用基礎レベル」の認定を受けている、又は「応用基礎レベル」の認定を受ける計画があるか。

支援期間中における具体的な計画

○○○○○○○○○○○○○○○○。

高専名　　○○高等専門学校

様式２－２－１別添

☆様式２－２－１の「３．申請要件」における②⑥⑧⑨の設問を踏まえて以下を回答すること。

表１　情報系組織の入学定員増推移　　上段：入学定員、中段：前年度からの増減員数、下段：選定時からの増減員数

組織名	事業対象	設置・増員等	選定	2年経過前		2年経過後					
			R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
学科												
○○学科○○コース	○	R9設置			30	30	30	30	30	30	30	
					+30							
					+30	+30	+30	+30	+30	+30	+30	
△△学科△△コース	○	R11増員	10	10	10	10	20	20	20	20	20	
							+10					
							+10	+10	+10	+10	+10	
△△学科□□コース		R9募集停止	10	10								
					-10							
					-10	-10	-10	-10	-10	-10	-10	
計			20	20	40	40	50	50	50	50	50	
					+20		+10					
					+20	+20	+30	+30	+30	+30	+30	

表２　情報系組織の収容定員の割合

		学科
高専全体の情報系組織の収容定員	増員前（R7.4.1時点）	100
	増員後	250
	増分	150
高専の全組織の収容定員	増員前（R7.4.1時点）	600
	増員後	700
情報系組織の収容定員の占める割合	増員前（R7.4.1時点）	16.7%
	増員後	35.7%
	増分	+19.0%

表３　情報系組織の収容定員充足率（過去５年間）　　（当年度５月１日現在）

組織名		R2	R3	R4	R5	R6	平均	備考
学科								
△△学科△△コース	収容定員			10	20	30	-	R4設置
	在籍学生数			12	22	33	-	
	収容定員充足率			120.0%	110.0%	110.0%	113.3%	
△△学科□□コース	収容定員	50	50	50	50	50	-	
	在籍学生数	50	51	51	51	52	-	
	収容定員充足率	100.0%	102.0%	102.0%	102.0%	104.0%	102.0%	

表４　情報系組織の入学志願倍率（過去５年間）

組織名		R2	R3	R4	R5	R6	平均	備考
学科								
△△学科△△コース	募集定員			10	10	10	-	R4設置
	志願者数			15	12	14	-	
	入学志願倍率			1.5	1.2	1.4	1.3	
△△学科□□コース	募集定員	10	10	10	10	10	-	
	志願者数	11	12	11	11	12	-	
	入学志願倍率	1.1	1.2	1.1	1.1	1.2	1.1	

表５　情報系組織の学位分野等

設置・増員等前（R7.4.1時点）		設置・増員等後（事業計画終了時）				備考
組織名	主な学位分野	組織名	事業対象	主な学位分野	参考：所在地	
学科						
△△学科△△コース	工学関係	○○学科○○コース	○	工学関係	神奈川県	
△△学科□□コース	工学関係	△△学科△△コース	○	工学関係	神奈川県	

組織情報に係る特記事項

○○○○○○○○○○○○○○○○。

５．実施計画

（１）事業概要

○○○○○○○○○○○○○○○○。
○○○○○○○○○○○○○○○○。

（２）年度別の計画（本事業における助成期間中の計画について記載）

年度	学科等の設置等及び その準備（設置認可申請等）	教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、 教育活動の充実等の取組
令和７年度	【令和７年４月１日時点の入学定員】 △△学科△△コース 入学定員10名 --- ３月　○○学科設置認可申請	① ○月　○○学科(○○コース)学生数増のための○○棟改修工事(1年目)の実施(竣工予定日：　) ② ○月　・・・のための○○システムの導入 ③ ○月　・・・のための教育体制の整備 (○○担当実務家教員○名採用) ④ ○月　・・・のための教員の確保 (学外者が授業科目○○の一部を担当) ⑤ ○月　・・・のための教員確保に係る国内大学等を訪問 ⑥ ○月　・・・のための○○教材等を作成 ⑦ ○月　・・・のための○○用設備をリース
令和８年度		① ○月　○○○○○○○○○○○○○○○○
令和９年度	４月　○○学科○○コース設置（入学定員30名）	
令和１０年度	○月　△△学科△△コース収容定員に係る学則変更届	① ○月　○○○○○○○○○○○○○○○○
令和１１年度	４月　△△学科△△コース10名増員（入学定員20名）	① ○月　○○○○○○○○○○○○○○○○
令和１２年度		① ○月　○○○○○○○○○○○○○○○○
令和１３年度		① ○月　○○○○○○○○○○○○○○○○
令和１４年度		① ○月　○○○○○○○○○○○○○○○○
令和１５年度		① ○月　○○○○○○○○○○○○○○○○
令和１６年度		

①、②等の番号を様式2-2-3「計画との関係等」欄の該当する項目に記載してください。

事業計画における全ての年度分を記載してください。

設置認可申請や届出等、文科省への手続を行う予定も忘れずに記載してください。特に令和７年３月に設置認可申請・意見伺いを行う場合は記載必須です。

事業期間以外の年度は、「セルの書式設定」を用いて、斜線を引いてください。

（３）資金計画

①助成期間に係る助成事業に要する経費　　（単位：千円）

年　度			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
助成対象経費			***,***	***,***	***,***	***,***	***,***
	内訳	助成金申請額	***,***	***,***	***,***	***,***	***,***
		施設設備整備費･建物取得費	**,***	**,***	**,***	**,***	**,***
		備品費	*,***				*,***
		人件費	*,***				*,***
		謝金	*,***				*,***
		旅費	*,***	*,***	*,***	*,***	*,***
		委託･外注費	*,***	*,***	*,***	*,***	*,***
		会議費	*,***	*,***	*,***	*,***	*,***
		借料及び損料	*,***	*,***	*,***	*,***	*,***
		自己負担額	*,***	*,***	*,***	*,***	*,***
		施設設備整備費･建物取得費	*,***	*,***	*,***	*,***	*,***
		備品費	*,***	*,***	*,***	*,***	*,***
		人件費	*,***	*,***	*,***	*,***	*,***
		謝金	*,***	*,***	*,***	*,***	*,***
		旅費	*,***	*,***	*,***	*,***	*,***
		委託･外注費	*,***	*,***	*,***	*,***	*,***
		会議費	*,***	*,***	*,***	*,***	*,***
		借料及び損料	*,***	*,***	*,***	*,***	*,***

様式2-2-3を作成すると数値が
自動反映されますので、入力不要です。

年　度			令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	合計
助成対象経費			***,***	***,***	***,***	***,***		***,***
	内訳	助成金申請額	***,***	***,***	***,***	***,***		***,***
		施設設備整備費･建物取得費	**,***	**,***	**,***	**,***		***,***
		備品費	*,***	*,***	*,***	*,***		**,***
		人件費	*,***	*,***	*,***	*,***		**,***
		謝金	*,***	*,***	*,***	*,***		**,***
		旅費	*,***	*,***	*,***	*,***		**,***
		委託･外注費	*,***	*,***	*,***	*,***		**,***
		会議費	*,***	*,***	*,***	*,***		**,***
		借料及び損料	*,***	*,***	*,***	*,***		**,***
		自己負担額	*,***	*,***	*,***	*,***		**,***
		施設設備整備費･建物取得費	*,***	*,***	*,***	*,***		**,***
		備品費	*,***	*,***	*,***	*,***		**,***
		人件費	*,***	*,***	*,***	*,***		**,***
		謝金	*,***	*,***	*,***	*,***		**,***
		旅費	*,***	*,***	*,***	*,***		**,***
		委託･外注費	*,***	*,***	*,***	*,***		**,***
		会議費	*,***	*,***	*,***	*,***		**,***
		借料及び損料	*,***	*,***	*,***	*,***		**,***

②助成金申請額等の積算内訳　→　様式２－２－３

高専名　　○○高等専門学校

様式２－２－３

＜事業全体＞助成期間における各経費の明細【年度ごとに１ページ】

（単位：千円）

本事業の助成対象経費として支出が可能な経費は、本事業計画の遂行に必要な経費であり、本事業の目的を実現するための使途に限定される。（公募要領、助成金取扱要領参照。）
※年度ごとに１ページを用いて記入すること
※金額は概算での記入を可能とする

＜令和７年度＞　経費区分	助成金申請額（A）	自己負担額（B）	助成対象経費（A＋B）	計画との関係等	備考
［物品費］	**,***	*,***	**,***		
施設設備整備費・建物取得費	**,***	*,***	**,***		
・○○学科○○棟改修工事（１年目）	**,***	*,***	**,***	①○○学科○○コース学生数増のため	ア）団地名：○○ イ）改修面積：○○㎡ ウ）工期：R8.2-R8.9
・					
・					
備品費	*,***	*,***	*,***		
・○○システム一式 ○○ｻｰﾊﾞ 1台 *,***千円 ○○ﾈｯﾄﾜｰｸ 1台 *,***千円	*,***	*,***	*,***	②○○学科○○コースの○○システム構築のため	
・					
・					
・					
［人件費・謝金］	*,***	*,***	*,***		
人件費	*,***	*,***	*,***		
・※△△学科専任教授（実務家教員） ○人×@*,***千円	*,***	*,***	*,***	③△△学科△△コース○○分野担当（○○演習）	R7.10採用 エフォート率○%
・					
・					
・					
・					
謝金	*,***	*,***	*,***		
・非常勤講師謝金 ○人×○回×@**千円	*,***	*,***	*,***	④△△学科△△コースの授業科目（○○工学）の一部を担当	
・					
［旅費］	*,***	*,***	*,***		
・教員確保に係る国内旅費 ○人×○回×@**千円	*,***	*,***	*,***	⑤○○学科○○コース教員確保のための国内連絡調整旅費	
・					
・					
［その他］	*,***	*,***	*,***		
委託・外注費	*,***	*,***	*,***		
・○○用教材「○○○」作成費	*,***	*,***	*,***	⑥○○学科○○コースの教材作成費	
・					
会議費					
・					
・					
・					
借料及び損料	*,***	*,***	*,***		
・○○設備リース経費 **千円×○台×○月	*,***	*,***	*,***	⑦○○学科○○コースの○○用設備	
・					
＜令和７年度＞　合計	***,***	*,***	***,***		

事業計画における全ての年度分を記載してください。